

会 議 名	令和元年度第2回小金井市児童館運営審議会		
事務局(担当課)	児童青少年課		
開催日時	令和元年11月28日(木)午前9時30分から11時20分		
開催場所	小金井市 緑児童館		
出席者	委員	倉持委員、鈴木委員、北村委員、清水委員、木本委員、山田委員、中川委員	
	その他		
	事務局	鈴木課長、前田係長、森主査、山田主任、鈴木主任、野村主事、東児童館(高野マネージャー)	
傍聴の可否	可	傍聴者数	1名
会議次第	議題 1 開会 (館内見学) 2 議題 (1) 児童館事業について (2) その他 3 閉会		
資料・配布物	資料 ・資料6 児童館自由来館調査 参考 ○ 平成30年度児童館この一年のあゆみ(完成版) ○ 小金井市子どもの権利に関する条例10周年記念「じどうかんフェスティバル2019」参加者数		

鈴木課長	<p>おはようございます。それでは、定刻になりましたので、始めさせていただきます。</p> <p>本日は、お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。ただいまから令和元年度第2回小金井市児童館運営審議会を開催いたします。</p> <p>本日、山中委員、壇原委員、緒方委員からは欠席の旨、ご連絡をいただいておりますので、ご報告申し上げます。</p> <p>児童館運営審議会では児童館を会場として開催させていただく会議を設けておりまして、2年間で市内4館全てを見ていただくようにしてございます。本日は、緑児童館を会場とさせていただいておりますので、会議に先立ちまして館内の見学をお願いしたいと存じます。よろしく願いいたします。</p>
倉持会長	<p>それでは、見学に行きたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
森主査	<p>それでは、緑児童館の森です。施設をご案内させていただきますので、荷物はこちらのほうに置いていただいて、こちらのほうでいたしますので、よろしく願いいたします。どうぞ。</p> <p style="text-align: center;">(館内見学)</p>
倉持会長	<p>では、おはようございます。後になっちゃいましたけど。見学お疲れさまでした。ありがとうございました。</p> <p>じゃあ見学、初めての方と何度もいらっしゃっている方といらっしゃると思うんですけども、少し感想や、ご質問やご意見などいただければと思っておりますけれども、どうしよう。じゃあ、清水委員から、ぐるりと順番に一言ずつ、質問でも、意見でも、要望でも、何でもいいので、お願いします。</p>
清水委員	<p>緑児童館は初めて来させていただいて、今日来るときに、この道で大丈夫かなと思いつつ来ました。見学させていただいて、一番印象的だったのは、天井が高い遊戯室が、あそここのところがすごく開放的で明るくてとてもいいなと思ったのと、お部屋が幾つかあって、2階が全部学童になったという話だったんですけども、活動できるお部屋が結構あるなど、そういう印象を受けました。</p> <p>やっぱりピアノが置いてあったりとか、鏡張りの壁があったりということで、子どもたちがいろいろ楽しめる環境にあるなという印象を受けました。</p>

<p>倉持会長 鈴木委員</p>	<p>以上です。</p> <p>ありがとうございます。じゃ、鈴木委員、お願いします。</p> <p>私は子どもが緑児童館のところで、まだ今現在も幼稚園児と小学1年生でお世話になっている状況で、改めて森さんの説明聞きながら一緒に回って、ああ、ここで、うちの子、こんなことしてたな、でも、ここはこういうお部屋だったんだなんて思いながら回らせていただきました。これからも緑児童館、どんどん使わせていただきたいなと思っていますけれども、よろしく願いいたします。</p>
<p>倉持会長 木本委員</p>	<p>ありがとうございます。木本委員、お願いします。</p> <p>私も初めて緑児童館に来させていただいたんですけども、やはり天井が高い遊戯室が、何か開放感があっていいなというのがありました。</p> <p>あと、多世代がやはり活動するというのは、物も違うし、活動も違うし、何か物の置き場であったりとかはすごくご苦労されているんだろうなというの印象にありながら、でも、その中で、すごく考えてやってくださっているんだろうなというのを感じました。</p> <p>あと、東児童館しかほとんど行かないので、ピアノがあったりとか、鏡張りがあったりとか、あっ、こういう活動、こういう物があると、また遊びも広がるのかなというので、ちょっとまた別の児童館に行ってみる経験とかもおもしろいのかなと思いました。ありがとうございます。</p>
<p>倉持会長 中川委員</p>	<p>ありがとうございます。中川委員、お願いします。</p> <p>私も、もう見学3回目で、毎回毎回思うことは、やっぱり玄関入って中が広い印象がどうしてもあって。まあ、それぞれ遊ぶところも天井も高く、庭もちゃんとしっかり広さがあるというイメージであるんですけど、1つお聞きしたいのは、外にあったピンクの階段のところというのは、外からもおりていけるようになっているのかなというのと、ボール遊びを外でする場合は、何か先生に声をかけて子どもたちは出るのかなというの、ちょっとお聞きしたいかなと思います。</p>
<p>倉持会長 森主査</p>	<p>ありがとうございます。じゃあ、質問。そうですね。森主査。</p> <p>緑児童館の非常階段の件ですが、文字通り「非常階段」です。そこに見える学童保育所のテラスから外に出るための階段で、学童保育所の運営上そこから日常的に靴を履き替えて外遊びに向かっているかは</p>

	<p>わかりませんが、災害時に非常口から外に出るための階段です。塗装はこれまで幾度か塗り替えを行って今はピンク色ですが、少しはげかかっているようです。</p> <p>あと、庭の遊び方ですけれども、先ほどもご説明したとおり、近隣の方々にご迷惑をおかけしないようにという配慮をさせていただいている関係で、ボール遊びには特に注意しています。子どもたちは突然何も考えずにポンとボールを蹴り上げて、それが外に飛び出すということが多々ありました。なので、小学生のドッジボール遊びなどについては、職員がついて行うか、細かく指導してから行わせるなどしています。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。じゃ、山田委員お願いします。</p>
山田委員	<p>山田です。私も坂下の人間なので、なかなか上に来ないので、今日も朝から迷子になりながら、ここまで来ましたが。久しぶりに来て、調理器具はやっぱりすごい充実しているなと思いました。</p> <p>あと、今日は赤ちゃんの日って言っていたんですけど、やっぱりゼロ歳児と2歳児、3歳児と一緒に遊ぶのはなかなか難しいので、ああやって2つフロアがあるとありがたいなと思っていました。</p> <p>以上です。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。じゃ、北村委員お願いいたします。</p>
北村委員	<p>私も緑児童館に伺うの初めてだったんですけど、印象としては、子どもたちが遊んでいる様子がすごく目に浮かぶような描きやすい雰囲気。雑然としていらっしゃるっておっしゃっていましたが、それが、ほんとうに使っている様子が目に浮かぶ児童館だなということを感じました。</p> <p>ただ、1つ気になったのが、収納が非常に少ないかなというような気がして、お子さんのけがにつながらないといいなということと、あと、外でボール遊びもなかなか制約があるということでしたけれども、今、子どもたちがボール遊びができる場所が少なくなっているということで、やっぱり児童館でもできない、思うようにはできないんだなという、何か残念な印象です。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。私も今日バスおりて、あっ、ここだったと思って、記憶が思い出したんですけど、何か前来たときよりも。やっぱりさっき聞いて、お料理をする部屋が、あそこだけきれいにしたと</p>

というのがあって。前は、もっと調理器具があふれんばかりに、部屋にあふれていたような気がするので、整った、作業しやすくなったなどというのは感じました。

前もそうだったかもしれませんが、今、もう2階が学童で1階が児童館でということ、完全に一応整理というか、子どもたちの動線は整理されているということなんですけれども、児童館の利用する子どもたちのあふれぐあいというんでしょうかね、スペースの確保ぐあいというの。比較的、緑児童館、スペース多いなと思うんですけれども、ふだんの様子というのは、どれぐらいの衝突というか、そういうトラブルがないのかということ、ちょっと伺いたいなと思ったんですけれども、どうでしょうか。

森主査

衝突というのは、ほんとうに文字どおり衝突なのか、それとも部屋の割り当てみたいな、そういう意味での衝突……。

倉持会長

(笑) じゃあ両方の意味で。

森主査

先ほどのご意見にもあった収納の関係でけががというご指摘ですが、収納については他館に比べて少ないと思います。法律の関係で外に基礎工事を必要とするような大きな倉庫が置けず、移動できることが前提の小さなものしかありません。

よって、室内の収納スペースで補っていますが、大きなイベントがあると色々な制作物が増えたりすると、収納で一部屋をつぶしてしまうこともあります。今のところ起きてはいませんが、そのために子どもたちの来館が多い日にスペースがなくて子どもたち同士がぶつかって怪我をしてしまうことにつながる可能性はあるので注意はしていますが、やはり収納の問題は頭の痛いところです。

たしかに作りの上では、館内に入った瞬間一見空間が広いように見えますが、部屋ではなく通路だったりするので、遊ぶスペースがたくさんあるという訳ではありません。

日常的には小学生の遊び場ということになりますけれども、中学生が来館した場合、先ほど見ていただいた中・高校生世代の専用の部屋(活動室)はありますが、ボール遊びや卓球といったスポーツ系の遊びは小学生と同じ遊戯室になってしまいます。

カードや(携帯)ゲームをしたい子どもたちには図書室なり工作室に行ってもらえるなどの交通整理はしていますが、大人しくしていた子

倉持会長	<p>どもたちが突然走り回ったりすることもあります。よって、鬼ごっこのような走り回る遊びでぶつかって怪我、というのは他の児童館もそうですが、ちょこちょこありました。</p> <p>市の児童館は建て替えもあったので、緑児童館は今の建物としては3番目になります。子どもの施設としての建築上の面白さを出した最初の児童館だと思います。ついでに言うと緑児童館設立の1年後に東児童館を全面建て替えました。緑児童館建築についても職員のアイデアとかは出したということですが、そこで反映できなかった部分を東児童館の建築に出しているの、次回以降の審議会で会場となった場合は、そういった目で施設を見ていただけたらと思います。</p> <p>ありがとうございます。確かに階段のつくりとか、ちょっと真ん中に吹き抜けで天井を高くする工夫を感じつつも、実際に使ってみると、いろいろ問題があるところもあったところも解決されているんですね。ありがとうございました。</p> <p>それこそ階段の通行動めされている上の階段にいっぱい物があつたりもした、置く場所ないんだなという感じがしたんですけど、ご苦労されていることが、よく実際、実地で見させていただいて、わかったと思います。</p> <p>何か追加でご質問やご意見等ございますでしょうか。はい、どうぞ。</p>
木本委員	<p>木本委員。</p> <p>今、倉持先生もおっしゃっていた、その階段の荷物のことなんですけど、あそこは多分、屋上に通じる階段だと思うんですけど、屋上で子どもたちが遊ぶということはないんでしょうか。</p>
森主査	<p>屋上の使用ですけれども、基本的にはないです。以前、天体観測とか、そういった行事のことで、子どもたちと一緒に職員がついて出ることはありましたが、現在では事業としても使用していません。学童保育その方でも、屋上に至る階段には荷物を置いて子どもたちが登れないようになっていますが、屋上スペースはフェンスを子どもたちが乗り越えることも可能で危険なので、常にカギを掛けては入れないようにしています。</p>
木本委員 倉持会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>そのほか、いかがでしょうか。</p> <p>それでは引き続き議事を進めていきたいと思います。まず、じゃ、</p>

前田係長	<p>資料の確認を事務局からご説明をお願いします。</p> <p>事務局、児童青少年係の前田です。おはようございます。資料の確認をさせていただきます。</p> <p>まず事前に送付させていただきましたのが次第と資料6になっております。児童館自由来館調査、ホチキスどめのもので、それから本日、机前にお配りしたものとして、参考で、先日行われました「小金井市子どもの権利に関する条例10周年記念じどうかんフェスティバル2019」の参加者数一覧。速報値、暫定値という形になりますが、お出ししております。そして、前回の審議会で数字部分の暫定版をお示ししていたかと思うんですが、平成30年度の一年のあゆみがまとまりましたので、完成版のほうを机上配付させていただいております。</p> <p>事前送付のものも含めて、机上にないものがございましたら、おっしゃっていただければと思います。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。それでは議事に入って、児童館事業についてに審議していきたいと思っております。</p> <p>まずは、先日開催しましたじどうかんフェスティバルについて、議題とさせていただきたいと思っております。まず事務局から報告等をお願いいたします。</p>
森主査	<p>それでは、緑児童館の森が報告をさせていただきます。</p> <p>去る11月17日の日曜日、午前11時から午後4時まで、小金井宮地楽器ホールの方で、じどうかんフェスティバル2019というイベントを実施いたしました。これに際しては、実際に見に来ていただいた委員の方もいらっしゃると思っております。どうもありがとうございました。</p> <p>今回のじどうかんフェスティバルに関しては、基本的には「じどうかんフェスティバル」という名称をつけた7回目の事業になります。これまでは小学校の体育館を借りて、児童館ごとの遊びを中心としたブースと、それから舞台の上で子どもたちが踊ったり、歌ったりといったステージの発表を基本にしてきました</p> <p>ただ3年前は、本町児童館が小金井で最初にできた児童館として設立50年を迎えることを記念し、「児童館設立50周年記念事業」として宮地楽器ホールの方を使わせていただきました。</p> <p>今回、宮地楽器ホールを使用した理由ですが、小金井市子どもの権</p>

利に関する条例というのが制定10年を迎えたということで、それを一応、記念という形で冠として、「小金井市子どもの権利に関する条例制定10周年記念事業」じどうかんフェスティバル2019という名前で行いました。

内容としては例年どおりの形を踏まえて、児童館ブース、それから小ホールを利用した舞台発表という、この2本立てにしましたが、記念事業として小学生から高校生までの意見発表、当日子どもたちから書いてもらった希望や意見を1本の木に描いた「権利の木」の作成と発表を行いました。

市の条例についての記念事業なので、最後に市長に列席いただき挨拶もいただきましたが、子どもたちの意見発表についてはその場で聞いてもらうこともできました。また、最後に舞台に出演者やスタッフになった子どもたちが全員揃って「パプリカ」を踊ったのですが、市長にも一緒に壇上に上がってもらいました。

全体の進行についてもプログラム通りで、事故もなく終えられたのは何よりでしたが、そういうことで、我々職員としてはこの条例を子どもたちや市民に広め周知してもらうための一つの効果にはなってくれたのではないかと考えています

参考資料として、来場者数と出演者及びスタッフ内訳というのがあります。一般来場者に関しては、まだ集計が済んでおりませんで、まだざっとなんですけど、500人前後の参加者が恐らくあったのではないかなと思います。

また今回は児童館だけでなく同じ児童青少年課の事業となっているプレーパークを「出張」という形で外側のフェスティバルコートを借りて行いました。また子どもの権利に関する条例の制定を記念する事業ということで、市内で子どもや子どもの権利に関連した活動を行っている市民団体5団体にも参加してもらいました。この団体の皆様には共同してもらって、ホール地階にある市民ギャラリーで子どもの権利に関する掲示や小さな子どもむけの絵本の読み聞かせや遊びを行ってもらいました。

さらにフェスティバル終了後に小ホールの中で子どもの権利の講演会を行いました。

イベントの実施については、例年通り子どもたちと半年かけて準備してきましたが、職員としても今回は記念事業ということでその前か

倉持会長	<p>ら進めてきたこともあり、とりあえず終わってやれやれといった感じ です。</p> <p>何かお気づきになられたこととか、あと、これについてもご質問が あれば、どうぞ、ご遠慮なく、していただければと。</p> <p>ありがとうございました。それでは、参加された委員いらっしやい ましたら、ご感想やご意見など、あるいはご参加されなかった委員か らでも、ご質問等ありましたら、いろいろお聞かせいただければと思 います。いかがでしょうか。じゃ、中川委員、お願いします。</p>
中川委員	<p>私は実際参加させていただいて、見に行ってきたんですけど、今回 は外でプレーパークのイベントがあって、未就学児の子どもたちが結 構遊んでいて、それに親御さんたちもいて、その流れで何かじどうか んフェスティバルに入ってこられるという方もいらっしやったのかな という。</p> <p>印象としては、やっぱり前回行った小学校とは規模が全然違うので、 それなりにやる内容を子どもたちも工夫されていたと思うんですけ ど、その見せ方の工夫だとか、その内容に関して、先生たちと一緒に 話し合っ、こういうふうな見せ方がいいんだよというのを何か話さ れたのかなと。</p> <p>もう全然、広さの規模が違うので、子どもたちのやりたいという内 容と、実際あそこでしかできない内容というので、やっぱり多少は意 見も出し方でいろいろあったのかなというのも、ちょっとお聞きした いのと、あとは、このステージのプログラムの内容が、いつもと違っ て、何かバンドの方が最初にあるという中。小学校で見たときは、 何かやっぱり子どもたちのダンスとかがメインになって、後半戦が、 そういう学生の方たちのバンドだったりというのがあったと思うん ですけど、今回は、逆に私は前回のを見ていたので、見て、最初にバン ドが入って。前回だと、やっぱり子どもたちのダンスが終わっちゃう と、席が結構あいているという印象があったんですけど、今回はそれ が、バンドの方たちが最初にいたので、お母さんたちも見ることが できて、その後に子どもたちのダンスが続いたりとかしていたので、客 席のほうも、そこそこ埋まっていた、それが最後まで結構その状態が 続いていたので、そのプログラムの作り方というのも、子どもたち の会議のところで一緒に先生たちもお話をされて工夫をされたのか、 それとも子どもたちがそういうふうにしたほうが良いという意見が出</p>

倉持会長	<p>たのかというのも、ちょっとお聞きしたいなと思いました。</p> <p>ありがとうございます。じゃあ、その会場がいつもと違うということでの広さと、実際に子どもたちのアイデアというか、企画のこととの兼ね合いはどうだったのかということと、プログラムですね。ステージのほうのプログラムというところに、子どもの意見が反映されているのか、職員さんが工夫されたのか、どういうふうにここをという。</p>
中川委員	<p>そうですね。</p>
倉持会長	<p>そのあたり、じゃあ、いかがでしょうか。</p>
森主査	<p>ステージに関してなんですけれども、基本的には小学校の体育館のほうが広いですね。やはり舞台そのものの大きさも広いですし、実際、観客として見ていただくスペースも横に多分広いと思いますので、その辺は確かにあるので、学校のほうがいいという意見もあります。</p> <p>ステージの構成ですけれども、基本的には私たちはプロではありませんし、子どもたちと一緒にというスタンスでやっています。ステージの出演希望については公募を行っていますが、申込終了後に全体会に集ってもらい、出演順やリハーサルの時間を個々の希望を出し合いながら相談して決めます。</p> <p>なので、今、委員さんからおっしゃったことに関しては、良い見せ方を考えた上で順番を決めているわけではないので、基本的には、結果としてバンドが先に来たということです。いろいろな見方があると思いますが、その辺をご理解いただければと思います。</p>
倉持会長	<p>どうぞ。</p>
中川委員	<p>ブースのほうですね。ブースのほうの工夫の仕方というか、子どもたちが出してきたものと、その大きさによって、やっぱり決まってくるので、その部分で、先生たちの話し合いでどうだったのかなというのをお聞きしたいです。</p>
森主査	<p>子どもたちの意見を聞いて、子どもたちのやりたいことをやるという趣旨と矛盾してしまうんですが、宮地楽器ホールのような会場はどうしても、学校の体育館を使用する以上に制約があります。例えば縁日のように食べ物はもちろん、金銭のやり取りができないですし、拡声器を使うような呼び込みもできません。また、児童館ブースは1階のマルチパーパスと呼ばれる広いスペースを借りたのですが、各児童</p>

	<p>館の区分けも会場が真四角ではなく円形なので、うまく四館均等に振り分けることもできませんでした。また、もともと床に通路と自由スペースにはきちんとした区割りがあり、こちらの都合で机や物品を数センチでもはみ出すこともできませんでした。</p> <p>よって、結果で言うと本町と貫井南児童館に比べて、東・緑児童館のスペースは狭かったと思います。いずれにせよ、どの児童館も自分たちの区割りの制約の中で自分たちのやりたいことを考えました。</p> <p>ですから、自由度という意味では、小学校の体育館の方が適していると思います。ですが、イベントの趣旨・内容、集客のこと考えればまた違った見方もあります。特に多くの人に見てもらいたい、市内の子どもたちが一番集まりやすい場所ということを考えれば、宮地楽器ホール以上の場所はないとも考えます。なかなか難しいところではあります。</p>
倉持会長	<p>それぞれ一長一短がある。今年は周年ということもあるし、きちんと伝えることができたなら、ということで、宮地楽器ホールでの開催になったということですね。ありがとうございました。</p>
清水委員	<p>ほかの委員さん、いかがでしょうか。清水委員。</p> <p>先日見させていただいて、とてもステージ発表もよかったですし、ふだんの子どもたちの活動の様子がうかがえるようなフェスティバルでした。</p> <p>去年、一小で行われたのも拝見させていただいたんですけれども、やはり今、中川委員がおっしゃったように、体育館は広いですし、その体育館の中で全部、ブース発表も、ステージ発表も行われていますので、広さもあってというところはあると思うんですけれども、宮地楽器ホールで小ホールとマルチパーパススペース分かれて、独立させた形ではあったので、小ホール、狭いながらも、やはりそのステージに集中できるとか、そういった意味では、すごくよかったかなとは感じました。</p> <p>ただ、マルチパーパスのブース発表は、やはり通路がどうしても狭くなるので、お子さん向けのイベントでもあるので、ベビーカーの方も多かったですし、やはりあの狭さは、あそこで仕方ないんですけども、ちょっと大丈夫だったかなという印象を受けました。</p> <p>ただ、フェスティバルコートプレーパークがお天気、雨も降っていなかったのがよかったということが、すごくイベントとして、あちこ</p>

ちでやっているというような盛り上がりがあって、よかったんじゃないかなと思います。

子どもの権利に関する条例10周年ということで冠がついてのイベントだったので、権利の木の子どもたちがペタペタ、いろんなことを書いて貼ったのを、最後の閉会式のときに、大人にいろんなこと言っ
ていいんだよ、他人を傷つける権利はないんだよみたいな総括があつたりとか、あと子どもたちの意見発表というのがあって、それはやっぱり一つ、冠のついたフェスティバルとして、すごく充実したものになっていたんじゃないかなと思います。

小学生2人、子どもの発表に出ていたので、ちょっとその子たちの当該学校の先生にお会いする機会があったので、この子、お名前言っていましたので、頑張っていましたよということでお伝えして、じゃ、褒めておきますというお話もいただいてきました。

その発表のときに、高校生とかも発表されましたけど、ツイッターで情報発信するべきじゃないとか、フリーワイファイを設置とかって、要望をいうお子さんたちもありましたけど、できたら、せっかくそういうことで発表があったので、実現可能であれば、そういうことも実現していただければなとも感じました。

それと、あと、あの日は市の防災訓練と日程が重なっておまして、ちょっと市の行事なのに、ターゲットが、対象が違うというそうなんですけれども、大きな行事がそこで重なったのは、ちょっとどうなのかなとも思いました。

以上です。

倉持会長

ありがとうございます。何かコメントありますか、今の。特に質問とかじゃない。

鈴木課長

防災訓練と重なった件についてなんです。当初、我々のじどフェスのほうが予定としては先だった……。(笑) ここのところは夏とか、かなり猛暑とかというのもあって、だんだん防災訓練の時期が涼しいとか、あと学校に影響がないときということで調整をして、ずれてきたところもあったので、そういった状況もあってかぶってしまったというところですけど、こっちのほうが先だった。(笑)

ただ、ちょっと規模的には、やっぱり毎年、防災訓練やっていますし、そういった意味では、防災訓練のほうに行かれる市民が多い気がしているんですけど。どうしても市民が流れてしまうところはあった

森主査	<p>かなと思います。</p> <p>ただ、うちのほうが先に予定はしていました。そういった状況でございました。</p> <p>補足なんですけど、会場を押さえなきゃいけないという避けて通れない部分があるので、例えば、小金井宮地楽器ホールはほぼ1年前には押さえなくてはなりません。さらに市内の小・中学生が出やすい時期、例えば運動会、学校の試験を避けるとかを考慮しなくてはならないので、ほかのそういったところまでは、なかなか目が向けられないというのは実情としてあります。</p>
倉持会長	<p>可能な限り調整をしていただきつつも、後からかぶせられると、なかなか難しいところが確かにありますから。ありがとうございました。</p> <p>山田委員、どうぞ、お願いします。</p>
山田委員	<p>山田です。私も2歳児連れで行ってきて、開会式から出たんですけども、開会式の司会の女の子がすごい上手で、抑揚も上手で、棒読みじゃないので、すごいねって、みんな、周りも言っていました。</p> <p>あと、オープニングの映像というか、夏のイベントの映像流れたんですけど、そこのファイヤーダンスの映像流れて、いまだに2歳児の子は、CMで同じ曲が流れると、ああ、火くるくるしたねって言っているんで、すごい印象に残って、おおって感じたんだと思います。あれ、ほんとうすごかったです。くるくる回して。</p> <p>やっぱり限られたスペースの中で、ほんとう上手に皆さん使っていて、迷路とか、貫井児童館の子どもたちがやっている、ビニールシートを一生懸命迷路にしたやつとかも、ほんとう、もうすごい狭いんですよ。なんですけど、上手につくってありましたし、UFOキャッチャーも上手にでき上がっていたりとかしたので、ほんとうよく、みんな考えて、やっているなって思いました。うちの子も、お菓子いっぱいもらって、うはうはで帰りました。</p> <p>何か受付がちょっと奥まっているので、入り口が2つ、3つあるので、ちょっと横から入って、プレーパークの、カプラみたいなのに、ふらって来た人たちは受付まではたどり着かないので、総来場者数も、もうちょっと多分きつと多いのかなとは思っています。</p> <p>ほんとうスペースが狭かったんで、いっぱいいるときはなかなか歩けないとかという状況もありましたけど、でも、にぎわっているなどという雰囲気ではありました。</p>

	<p>あと、下も、逆に上がにぎわっているので、下のギャラリーのところに行って、ちょっとふうってする時間もあるというか、下にブロックとか、読み聞かせもしてくれていたの、なんですけど、もうちょっと人が来るように何かなかったかなって。せっかくいっぱい下、張ってあったので、もったいない気はしました。</p> <p>でも、盛り上がっていたと思います。</p>
倉持会長	<p>よろしいですか。ありがとうございます。</p> <p>何か今の話で、補足やコメントや、ございますでしょうか、事務局から。じゃ、お願いします。</p>
森主査	<p>地下の市民ギャラリーで、今回、協力していただいた団体の人たちが幼児向けの読み聞かせを行った件ですが、元々やる前からそのことに対する懸念はありました。やはり1階と地階が離れていることもあるし、先ほども言いましたが、会場内で拡声器を使えないので、上下の誘導もこちらでしにくい部分もありました。よって、市民ギャラリーにどれだけ行ってくれるかは我々も団体の皆さんも不安に思っていました。</p> <p>今回参加された団体の方々には、そういうことを含めて、反省、感想をお聞かせくださいというふうに今投げているところです。市民ギャラリーにどれだけ人が行ってくれたかの詳細の数字はこちらでは把握していませんが、暫定値でお伝えできる部分があったかなと思います。</p>
野村主事	<p>児童青少年係の野村と申します。暫定値で200名弱の数字をいただいております。</p>
森主査	<p>ということなので、迎えた団体の人たちが、どういう感想、印象を持っているかは、ちょっとまだ私のほうに戻ってきていないので、すみません。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。つい、まだ先週のことですから、暫定値だけでも教えていただいて、ありがとうございます。</p> <p>分かれていたから落ちついて見れるとか、そういうのもあったかもしれませんので。また新たに感想をいただいたので、ができたらなと思います。ありがとうございました。</p> <p>ほかの委員さん、いかがでしょうか。</p>
鈴木委員	<p>1点いいですか。</p>

<p>倉持会長 鈴木委員</p>	<p>はい。鈴木委員、お願いします。</p> <p>ちょっとわからないことがあって教えていただきたいんです。この一年のあゆみ、24ページに、去年、2018年のじどうかんフェスティバルのお便りがでていたので見比べていたんですけども、ステージ紹介が2018年と今年のを比べると、少し気持ち数が、ステージ参加の団体が少ないのかなという印象を受けました。</p> <p>もし何か、おわかりになる範囲で、数が減った理由とか要因があれば、ちょっとお伺いしたいなと思ったのが1点と、2018年のお便りと2019年のお便り、それぞれ別のバージョンがあるのかもしれないんですが、2018年にはブース紹介で、各児童館がどのような内容のブースを出しているのかというのが簡単に書いてありますけれども、2019年のほうには各児童館のブースの位置が書いてあるだけなので、もし紹介がこちらに、2019年のところに書かなかったのにも何か理由があったら聞いてみたいかなと思ったのと、あと個人的になんですが、じどうかんフェスティバルのキャラクターが、どうやら牛のキャラクターが、毎年これなのかなと思ったんですけども、このキャラクターの由来がもしあったら、ちょっと聞いてみたいなと。かわいいので。もしおわかりになったら聞いてみたいなと思ったんですけども。</p>
<p>倉持会長 森主査</p>	<p>じゃ3点よろしくお願いします。</p> <p>まず、チラシを見て昨年度との比較でステージ出演者（団体）が減ったのでは、という質問に対してですが、時間の関係上募集に制限はあるので毎年大きな変動はないと思います。例年と同じく公募した結果なので、興味を持ってくれた人たちが少なかったのか、伝わらなかったのか、正直理由まではわかりかねます。</p> <p>但し、今回もキャンセルされた団体が二、三あるんですね。なので、ほんとうだったら、申し込みだけで、もうちょっと多かったというのがあります。やはり高校の試験の都合とか、そういったものもあると思います。</p> <p>出演団体については、児童館で日常的に活動するグループと全く外部で活動しているサークル等の団体の2つに分かれます。確かに、後者に関しては昨年度より減ったかもしれません。</p> <p>このことを分析すると、例えばその年の児童館の中で見られる子ども</p>

<p>倉持会長</p> <p>鈴木委員</p> <p>倉持会長</p> <p>木本委員</p>	<p>もたちのノリというか、興味というか、例えば緑児童館の例ですが、ある年ダンスに非常に興味を持って自分たちで練習している6年生のグループがいて、その子どもたちが出演しました。でも翌年中学校に入るとクラブ活動の方に個々が力を入れてしまって、ダンスの活動はしなくなってしまった、ということがありました。次々と同じような子どもたちがいればいいのですが、うまくいかなければ自然とこうしたイベントの数に影響はします。</p> <p>それから、昨年度とのチラシの違いなんですけど、そのときの担当でいろいろ工夫はしているので、恐らく、これも多分こういうのが、こっちのほうがおもしろいだろうと思って作った結果です。特にブース紹介を入れなかったということに関しては、大きな理由はないということになります。</p> <p>それから最後の、このキャラクターが牛児郎という名前で、ギュウジのジが児童館ということです。実はこれ、子どもたちの意見というよりは職員のほうで、いろいろ試行錯誤を重ねて作り上げたものです。わりと評判がいいので、継続して使っています。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>確かに、比べてみると、いるなという感じです。</p> <p>その年の状況もあるでしょうし、特にステージのほうは利用者の子どもたちへの働きかけというのも、成果抜きできちんとやっても少し違うというのはきっとあると思います。ありがとうございました。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>はい、大丈夫です。</p> <p>どうぞ。よろしくお願いします。</p> <p>木本です。2点ありまして、1点目は感想というか、なんですけれども。このブースだったりステージもそうだったんですけど、それ以外に夏期クラブですか、夏休みにやっている。それで、何か子どもの権利を織りまぜて夏期クラブを今回開催された児童館とかもあったみたいで、この10周年に向けて、児童館の職員さんだけでなく、子どもたちにも、ちゃんと権利ってあるんだよというのを広めていこうとされているのかなというので、すごくいいなというのを、展示などを見させていただいて、いいなと思ったのが1点と、あと、このじどうかんフェスティバルのチラシなどを見ても、最後の閉会式後の1</p>
---	---

	<p>0周年記念講演会について全く触れられていなくて、市報も見せていただいたら、ありますということは書いてあったんですけど、どの先生がどんな内容でお話しされるというのが、ちょっと載っていなかったような気がして。何かこのじどうかんフェスティバルと同じ場所で同じ時間というか、続きでやるのに分離されているのかなというのがちょっと不思議。多分、すごくいいお話して下さったと思うんですけど、参加できなかつたんですが。なので、ちょっとその点、児童館の方か、市の方か、わからないんですけど、お伺いしたいというのが1点あります。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。じゃあ、それは広報ですかね。何か意図や、あるいは何かあれば教えてほしいということですかね。</p>
前田係長	<p>児童青少年係長です。今、講演会のほうのご意見、ご質問いただきました。</p> <p>まず、この記念講演会なんですけれども、もともとは同じ午前中、同じじどうかんフェスティバルの開催時間中にやろうと思って企画をしていたんですけれども、ちょっとその会場が狭いんじゃないとか、そういうご意見をいろいろいただいて、最終的に会場、時間をずらすことを、ぎりぎりまで調整をしておりました。そういう事情がありまして、このじどうかんフェスティバルのチラシを学校に配布する時期に、まだ何時からできるかというのが決まっていなくてですね。このチラシを作成した段階では、ちょっとそこまでは入れられないということで、これとは別に、講演会ありますよ程度であれば載せられるというところで、学校に配った、もう一つ別の便りもあるんですけども、そちらのほうでは、そういった出せる範囲までの周知から始めたというところがありまして、そういった間に合ったところから掲載をさせていただいていたところなんです。</p> <p>市報に関しての紙面の都合もありまして、この講演会につきましては、「子どもの権利と子どもの育ち」というタイトルで、NPO法人日本子どもソーシャルワーク協会の理事長の方にご講演いただいたんですけども、その文字数まで載せ切れない紙面になってしまったので、あとはホームページのほうへ誘導する形で、QRコードを掲載させていただいたという形になります。</p> <p>講演会のほうで何かチラシをつくったかということについても追加で補足をさせていただきますと、大人向けという形で、このじどう</p>

<p>木本委員 倉持会長</p>	<p>かんフェスティバルについても載っているんですけど、講演会メインのチラシを作成いたしまして、市内の広報掲示板ですとか公共施設、あとは宮地楽器ホール、それと保育園、学校の校長先生などにも周知をさせていただいて、大人の目につくような形での周知のほうは、間に合う限り、させていただいたところですよ。その見本については、今日持ってくるのを忘れてしましまして、申しわけありません。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>よろしいですかね。ありがとうございました。</p> <p>ほかに、じどうかんフェスティバルについて何かご意見等ございますでしょうか。</p> <p>学校でやる形態、会場が変わったことによるよさと課題ありつつも、時々違う形態でやるというのは、やっぱりもとの意味やよさもわかったり、あるいは新しい何か発見があったりしていいなとも、皆様のご感想やご報告を聞いて思いました。</p> <p>よろしいでしょうかね。ありがとうございました。</p> <p>それでは次の議題に入りたいと思います。</p> <p>前回といいますか、毎年やっていますけれども、審議会で、児童館の開館時間を条例で決められているより遅くまで延長する試行を今行っているんですけども、昨年からさらに拡大しているというお話がありました。今日も資料6ということで、事前送付資料かな、つけられていると思うんですけども、まずは事務局からご報告、資料の説明いただければと思いますので、よろしくお願ひします。</p>
<p>森主査</p>	<p>緑児童館の森です。資料6のほうをごらんください。事前資料ということで目は通していただいているということで、お話をさせていただきたいと思います。</p> <p>前回からの続きになりますが、条例上は児童館の開館時間はが9時から5時までとなっております。その中で子どもたちの下校時間に合わせたよりよい放課後の生活を保障していくことを目的に、平成17年度から一部、児童館の開館時間を試行的に変更してまいりました。</p> <p>さらに、その翌年平成18年度に東児童館を業務委託いたしました。その際に委託事業の一つとして通年での午後6時までの開館を行いました。業務委託しました。今のところ直営の児童館に関しては、</p>

職員数と職員の勤務時間の関係で、午後5時30分までの開館時間の延長になっていますが、当初から段階的に施行の時期と施行する館を増やしてきました結果、現在は貫井南と緑の2館で通年での延長を行っています。本町児童館に関しては土曜日と学校休業期間については午後5時閉館のままです。

この状況に関して、客観的に問題点を探れば、まず各児童館での施行が違うことで異なった開館時間になっていること、施行での開館時間が10年以上たっていること、があげられると思います。

職員側としては色々思いも含めて、そろそろ条例上の統一した開館時間を定めるべき、という意見も出ていますが、そのためにも審議の方よろしくお願ひしたいと思います。

基本的には昨年、平成30年度の5月の連休明けから貫井と緑の2館が通年での午後5時30分までの開館としたことから変わってはおりません。表についてはそれ以後の平成30年度と今年度の児童の来館者に関する調査ということになります。

細かくて説明すると時間を要してしまうので省きますが、気付いたこと、不明なこと、等ご意見いただければと思います。必要ならば次回の審議会までに新たな数字を出すことも考えています。

倉持会長

ありがとうございました。条例上は17時ということになっているんですけども、今ご説明がありましたように実際には試行という形で、長い期間、この形になったのは30年の春からということですけども、17時半ないし18時までという閉館時間になっているというお話がありました。

本日は、事業計画とか事業報告についての議事がありませんので、この児童館の開館時間のことですね。あるいは、それ以外の件についても、今後の児童館のあり方、あるいは現状や課題ということを、皆さんなりに問題意識をお持ちの部分ありましたら、ご意見いただければと思います。

資料の読み込みも、どう読むかというのもあるとは思いますが、ご質問を含めて、ご意見等をいただければと思います。いかがでしょうか。北村委員、どうぞ。

北村委員

事前に資料を見させていただいて、数字としては、すごくわかりやすく表にもまとめていただいているので、時間を延長して、その割合はどのぐらいかというのもよくわかったんですけども、今ですと、

倉持会長 北村委員 倉持会長 北村委員 倉持会長 森主査	<p>すごく日が短くなっていて、夕方も4時半ぐらいになると暗くなるという状況で、夏は反対に、6時ぐらいでも、まだ全然明るくて遊べるような状況ですけど、これについては、もう通年ということで、特にその区別なく実施していらっしゃるようなんですけれども。数字としても特に大きな変化は見られないかなと私のほうでも感じてはいるんですけれども、実際にやられている児童館の職員さんたちのほうで、実際に感じられることというのは何かあるかどうかを伺いたいんですけれども。</p> <p>季節によってということですね。</p> <p>はい。季節によってということと、実際に開館時間を延長してみて、その数字では見られない問題点だとか。</p> <p>毎月実施して職員が感じている実感ということでしょうか。</p> <p>はい。</p> <p>いかがでしょうか。</p> <p>では、事務局として、まとめてお答えさせていただきます。</p> <p>10年以上、こういう形で開館時間を延長してきておりますが、例えば利用者の保護者の方から長い、短いとか、その辺について懸念されているようなご意見を直接いただいたことはございません。こちらとしても小中学生の放課後の実態や当時の来館時間などから行ってきたこともありますし、帰宅の安全面については一定の配慮もしてきました。さらに、何よりも開館時間の延長に関してはその対象を小学校4年生以上にしてきたということもあります。</p> <p>調査による分析についてですが、4年生以上と言っても中・高校生世代と小学生ではまた生活の実態が違いますし、これまでどの学年が多かったかということは説明できないと思います。</p> <p>また、単純に考えれば日の長い時間に比べて日が短くなれば子どもたちは早く帰るとは思います。ですが、東児童館のように午後6時までと他館のような午後5時30分までの30分の差について、年間で午後6時までがいいのか、やはり冬場はもう少し短い開館時間がいいのか、という分析判断はこちらとしてもできかねています。夏場でも早く帰る子どもたちもいれば、冬場閉館時間ぎりぎりまで遊んでいく子どもたちもいます</p> <p>また曜日ごとの分析も同じで、土曜日だから早く来られるから早く</p>
---	---

倉持会長	<p>帰るとは限らないし。これまで開館時間を延長して問題は起きていないことで、より判断は難しいと考えます。</p> <p>ありがとうございます。実際は、子どもたちは5時半まで時間があると思って、既にそれが定着している。試行といいながらも定着しているので、その開いている時間は児童館を利用しているということですね。ありがとうございました。</p>
中川委員	<p>ほかの委員さん、何かございますでしょうか。中川委員、どうぞ。</p> <p>数字ではこういう数字なんですけど、やっぱり今の時代は、ご両親が家庭環境の状況で遅くまで働いていらっしゃることも多くなったりとかして、それに伴って子どもも、まだ今の時間だったら、帰ったら誰もいないということで、少しでも、ちょっとあいている時間を児童館でぎりぎりまで過ごして帰りたいという子もいると思うんですね。</p> <p>なかなか難しく、冬の時間は、やっぱり暗くなると心配というのは、どうしてもついて回るもので。でも、まあ、子どもの状況によってはそれぞれなので、そこでどっちかというのがすごく難しく。安全面でいうと、やっぱり暗くなるのは危険だし、でも、いたい子どももいるというので、それを、どっちというのを決めるのは、なかなか難しいなというのが自分でもあります。</p>
倉持会長	<p>そうですね。</p>
中川委員	<p>はい。あと、子どもたちがこの時間というのを、もうわかっていれば、その状況になれているので、それを変えるというのも、また難しいことかなって思います。</p>
倉持会長	<p>館として何時まで。さっき事務局からも、委員からもありましたけど、何時まであけているのが今適切かということと、各家庭でそれをどういうふうに判断するかという問題と、バランスは難しいというところはあると思うんですけども。そうですね。なかなか難しいみたいですね。</p>
鈴木委員	<p>まだ委員さんそれぞれの観点からご意見いただければと。議論していければいいなと思っていますが、ほかの委員さんもいかがでしょうか。このことに限らずでも結構です。どうぞ、鈴木委員。</p> <p>長女が中学2年生なんですけれども、今あまり部活動、休止していますが、運動部に所属してしまして、1年生のときに、3年生を送る</p>

会で、運動部だったので出し物をしなくてはいけないとなったときに、出し物なので練習が必要だということになったんですけれども、部活動が毎日なり夜7時ぐらいまでである中で、平日、全く集まらない日が続いていく、土日でも部活で。でも、じゃあ、やっぱり金曜なりの夜集まらないと、とても練習ができないとなったときに、真っ暗い中で、どこにも行く場所が子どもたちなくて、小金井公園で暗い中で練習するわけにもいかない。いろいろ親御さんたちも動いて、結局、緑センター、あいているところ、部屋があったので、そこで借りて、ちょっと集まったりはしたんですけれども。この東児童館、貫井南児童館なんかの8時まであいている時間とかで、ひょっとして、そういうところを使わせてもらって集まったりできたのかなと、今ちょっと思ったりしたんですけれども。子どもは、やっぱり7時以降じゃないと学校が終わらない中で居場所もないというのは何となく感じているところではあります。

それに合わせて、やっぱり全児童館、その時間まで週何回なり開館しろと、そういう短絡的な考えではないんですけれども、何となく行き場所がないという感じは、何となく実感として感じた事例ではあります。

倉持会長

ありがとうございます。一つ中高生世代、中学生や高校生世代への取り組みということも、今ニーズが高まっているところではあるんですけど、それにもかかわって何か事務局から中高生の利用について等ございますでしょうかね。

森主査

中高校生の施設としての児童館ということで考えれば、その立地については大きいと考えます。緑児童館は緑中学校の目の前にありますが、それが来館しやすい条件かというところとは限りません。中学校から近いということは子どもたちにとっての来やすさというのは、部活動の帰りを含め下校の途中でよれることだと思いますが、学校の規則や先生方の目もあるのでなかなか難しいと思います。一度帰宅してからというところと遠くなってしまいますし、また夜間開館もやっていないので来られる時間も限られます。

不適切かもしれませんが、真面目な生徒は制服のままどこかに立ち寄ることを禁じられればそれを守ります。過去を思い返せば、中学生の来館が多かったときは、先ほど見ていただいた中・高校生の専用室の利用も含めて、先生方の目も気にせず中学校からそのまま突撃して

	<p>来るような「やんちゃな」子どもたちが多かったと思います。</p> <p>だから、逆に本来は児童館になんて来てる場合でない中間・期末の試験前や試験中で部活動が休みの時利用が増えたり、それこそ児童館どころでない、部活動を引退した中学校3年生が2学期以降に遊びに来たりすることは多くあります。</p> <p>ほかの児童館見ると、東児童館と貫井南児童館は夜間開館もやっているんで、その時間の利用も含めて、定着していることが多いですし、その後、ボランティアとして育っていくような子たちも多くいます。</p> <p>中・高校生世代の子どもたちについては、児童館に来たい子どもに関しては部活動が終わった後に、午後7時でも8時まででもやっていたら来ると思います。</p> <p>鈴木委員からあった、中・高校生世代の場については、施設としては様々な練習や準備で使われていると思います。ですが、開館の時間帯があつてのことです。公民館にあった、そういった場ですよ。子どもたちが、そういった準備とか練習をするような場所としては、やはり児童館は使われているなと思うんですけども、その時間帯がうまく合わないと、なかなか難しいかなというのは感じます。</p> <p>夜やっているということでは公民館に行っている子どもたちもいると思います。</p>
倉持会長	ありがとうございます。
森主査	あと、それでは中・高校生世代の夜間開館について、その様子を各担当職員から報告させます。
倉持会長	ありがとうございます。児童館以外の施設も連携しながら取組むということももちろんあると思いますし、今言った中高生の夜間開館ということも、東と貫井南という部分もあると思います。
山田委員	<p>ほかの委員さん、何か。山田委員。</p> <p>山田です。中学生って制服のまま来ちゃいけないんですか。そういうわけじゃなく。</p>
森主査	はい、大丈夫です。来ても大丈夫です。
山田委員	来ても大丈夫。何か今、1回帰ってという話があつたので。
倉持会長	学校の方針という。
森主査	学校の方針は、そういうことです。
倉持会長	学校によって、方針が多分変わるようなんですね。

山田委員	はい、わかりました。
森主査	児童館は拒否していない。誰でも受け入れます。
倉持会長	木本委員、どうぞ。
木本委員	木本です。それにあわせてなんですけれども、やっぱり小学校も、一旦家に帰ってランドセルを置いて児童館にというのが学校から言われているんですが、児童館側としてはいかがでしょうか。
倉持会長	ランドセルのまま児童館来ていいのか。
森主査	ランドセル来館というのは、小学生の場合は、基本的には安全面を考えないといけないと思います。学校のルールでまっすぐに学校から家に帰ることになっているし、こちらとしてもそれを基本とし、来館は一度家に帰ってから、と声かけはしています。ただ、保護者の希望で、一度学校から家に帰ってから行くよりも、直接児童館に行ったほうが近いし安心だからという理由の場合は、そういった希望に配慮させていただいています。
	直接保護者から要望が出た場合はランドセルを背負ったまま来館していいことにしています。ただし、学童保育所以外の小学生が夕方ランドセル背負って1人で歩くのもどうかと思うので、保護者には迎えに来るかランドセルだけでも引き取りに来てほしいとお願いしています。
	このことに関して学校側には理解を求めています。保護者の意向だからということ、一定の理解は得ていますが、校長先生によっては、それでも止めてほしいということをおられたことはあります。いずれにせよ、ランドセル背負って来てしまった子どもを無理に返すことはしません。
鈴木課長	児童青少年課長です。以前もちょっとランドセル来館の件はお話がありまして、校長先生とか教育委員会の指導室のほうに話を聞いたところがあります。基本的には校長先生の判断というところがあるようです。学校側とすれば保護者の方が了解をしていくのであれば、ランドセル来館も認める場合があるんですね。だから、全部が全部だめと言っているわけではないようですが、一応、学校を出た後に子どもがどこにいるのかというのはちゃんと把握した上で、行動してほしいということがあるので。学校さんのほうも、学校から帰っているという認識と、親は今日、児童館行くよと思っけていても、児童館のほう

	<p>に来たときには職員はわかっていますけど、ちょっとそこら辺の連携もあるみたいなので、学校側からすると、きちっと今日は帰りに児童館に寄っていきますというふうに学校の先生に連絡帳などで伝えて、児童館にも言ってほしいというのが学校側の見解としてあります。</p>
木本委員	ああ、そうなんですか。
鈴木課長	<p>はい。ただ、全部の校長先生に聞いたわけではないので。学校によっては、そのままランドセルで寄っていくというのは、保護者が了解していればいいですと単純に言う先生もいらっしゃいますし、ちゃんと学校の担任にも言って、行く先にもちゃんと言ってほしいという校長先生もいたので、いずれにしても、そういう状況はあるという。全部がだめと言っているわけじゃないんですけど、把握をした上で行ってほしいというのが一番良いと思います。</p>
木本委員	そうなんですね。
鈴木課長	<p>ちょっと全体的にというか、かなり学校長の判断というところが大きいので、どうしても統一的な考え方にならないのかなという。地域的なものもあるとは思いますが、そういう意見もあると。</p>
倉持会長	はい、どうぞ。
木本委員	<p>小学校から一旦帰ってから行きましょうというお手紙をいただくんですよ。そうすると、もう守らなくちゃと思うお母様方も結構多くて。児童館の小学校グループ、行かせたいけれども、学区の一番端に家があって、家に帰って、それから児童館のそのグループに行こうとすると間に合わなくて、もう申し込みすらできないんだって、助けてくださいというお母さんの声とかも結構上がってきているので、今伺ったお話とのギャップに。保護者の感じている思いと、そのお話のギャップに、ちょっと今驚いています。今日、小学校の校長先生がいらっしゃったらよかったなと思うんですけど。</p>
鈴木課長	<p>学校から言われるのは、連絡帳とかに、今日は学校から直接児童館に行かせますとちゃんと書いてということ伝えてほしいと言われていました。</p>
木本委員	ああ、そうなんですね。
倉持会長	はい、どうぞ。
森主査	<p>1点補足しますと、これは、やはり児童館と学校の位置関係にもよるんですね。やっぱり今のランドセル来館が圧倒的に多いのは、東児</p>

	<p>童館と緑児童館なんです。というのは、ここもそうですし、東児童館は、むしろ東小学校の中の敷地内にあるような感じなので、学童保育所の子どもと混じって来館してしまうみたいな感じもあります。けれども、貫井南児童館のように、どこの小学校の学区域にも属さないような位置にあると、結局、児童館に直接来るよりも家に帰ったほうが近い子どもが多いですし、保護者も学校から児童館にランドセルしょって直接行かすことのほうが、不安だと思っ方も多いと思います。本町児童館も同じ状況にあると思います。</p>
倉持会長	<p>だから、緑児童館の場合でも、小金井第三小学校のお子さんがそれをやることは、まずないです。やっぱり家のほうが近いということもありますし、違う学区域の施設にランドセル背負って自由に行かすというのは、ちょっとお母さんとしても不安があるということなので。あくまで、それは学校と児童館が近いということが条件になります。</p> <p>ありがとうございました。今おっしゃったように、市全体で統一したルールがあるというよりは、学校や学校長のそれぞれの判断や、児童館の状況によっても、ちょっと違うということです。</p> <p>多分、学校と保護者と児童館のコミュニケーションがうまくいかなくなると、子どもの安全という部分も不安は生じてくるという部分があると思うので、どうやって、それぞれの開示性というか、コミュニケーションをきちんとするかということも重要なこと、伺っていました。ありがとうございました。</p>
北村委員	<p>ほかには何かございますでしょうか。北村委員、どうぞ。</p> <p>今、学区という話が出ていたんですけども、私が住んでいる一小地区には児童館が設置されていない状況で、前回。今年から私、この審議会の委員にならせていただいて、前回その話が全く出ていなかったのですが、去年までの流れというのがどうなっているのかわからないですが、実際に一小、南小地区に児童館ということをして市のほうで検討していただいているのか。やはり、これだけ素晴らしい活動をされている児童館が、子どもの大切な居場所になっていると思うので。実際に家から遠い児童館というのは、子どもの足ではなかなか通いにくいということがありまして、その今の現状を教えてくださいたいです。</p>
倉持会長 鈴木課長	<p>事務局からお願いします。</p> <p>児童青少年課長です。一小南小地区の児童館建設用地についてなん</p>

	<p>ですけれども、取得した目的が児童館は持っているという形ではありませんけれども、なかなか今の市の財政状況も厳しいところも正直ありまして、すぐに建てるという形をとることが今できない状況ではあります。ただ、検討を何もしていないのかということではなくて、建てた場合、建てた後のコストですとか、そういったところも、普通に建てるとするると3億ぐらいかかりますし、その後、維持管理費も3,000万ぐらいかかるということで、いろいろと費用的なところもあります。</p> <p>ただ、この地域には児童館ないというところはよくわかっておりますので、この土地の利用についても、今後どういう形でしていくのがいいのかというのは、課題として持っており、引き続き、あり方を検討していかなければならないというところです。</p>
倉持会長	<p>議事録に残りますので、要望ということをぜひ、よろしければ、もう一度しっかり言っていただくと、次につながっていくかと思えます。</p>
北村委員	<p>はい、そうですね。うち、自分の子どもが、もう2人とも成人してしまっただんですが、引っ越してきた、子どものころから、そういう話は持ち上がってしまっていて、学校の保護者会でもずっと、この地域には児童館がないということがすごく残念だという意見が出て、市のほうにも要望は出していますけれども、なかなか、やっぱり財政的にとか、いろんなことを、問題があるので、話が進まないという状況のまま進んできている部分があるので。やっぱり子どもって、いつまでも小さいままでなくて、どんどん大きくなってしまっていて、今も子ども居場所がなくなっている状況ですので、ぜひ早目の段階で、いつかということではなくて、実現するような形で置いていただけたらありがたいです。</p>
倉持会長	<p>強く設置を要望するということですね。</p>
北村委員	<p>はい。</p>
倉持会長	<p>はい。ありがとうございます。中川委員。</p>
中川委員	<p>中川です。今の話のつながりで、逆に今、一小の子どもたちは、そういう児童館がないということで、市のほうで、それに対して、何かかわりではないですけど、一小は放課後の子ども教室を充実させているだとか、何かそういう部分でフォローはされているんですかね。</p>
鈴木課長	<p>児童青少年課長です。放課後子ども教室の関係ですが、今、協議会</p>

	<p>というのを全校で開くような形をとっていまして、一小のほうにも児童青少年課と生涯学習課とコーディネーターさん、学校長、学童の職員も入るとい形で、協議会を開催させていただいています。やはり出てくるのは一小も、南小も、あの地区には児童館がないということで、放課後子ども教室のほうの活用というか、参加のほうも、できるだけ内容を充実させていきたいというところです。今、南小のほうは全日開催は難しいところもあるんですけども、一小のほうは、協議会の中で出ているのは、来年度から日数を増やしたいというところでの話なんかも出ています。そういった部分でいくと、放課後子ども教室は1年生から6年生まで参加できますので、今そういう方向での話のほうを、生涯学習課と協力して、安全・安心な居場所をつくっていくということで話をしているという状況です。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。市内のどこに住んであっても、子どもたちが安心・安全で伸び伸びと過ごせる放課後の居場所を確保する。恒常的な施設の部分と、それができるまでの間は、せめて暫定的にでも、そういうふうに進んでいるということですね。そういうことを取り組んでいただければなというのを、審議会としても協議していきたいなと思います。ありがとうございます。</p>
清水委員	<p>どうぞ、清水委員。</p> <p>本町児童館なんですけれども、先週別会議で小学生のお子さんを持つ保護者の方から、本町児童館の混みぐあいが何とかならないかというようなことがございました。以前から、この協議会でもお話は出ているんですけども、学童の人数も増え、児童館、来館する子たちの遊び場所が狭いので、とても廊下もいっぱいになって混み合っているということで、何とかならないかというようなお話あったんですけども。とにかく子どもたちもどんどん、どんどん年数がたてば大きくなっちゃうので、そういった声を上げて、なかなかつながっていかないというか、そういう部分があります。</p>
鈴木課長	<p>それで、財政的なことがあって、なかなかというお話は、いつもお答えとしてあるんですけども、その後の進捗状況とかというのは何かございますでしょうか。</p> <p>児童青少年課長です。本町児童館に限らず、ここもそうなんですけれども、先ほど2階のベランダのところを見ていただいたと思いますが、緑児童館の学童のほうも大規模対策ということで児童館の協力を</p>

いただいて対応しております。本町児童館についても、ほんちょう学童の大規模化ということで、一時は学校の教室を借りてということもあったんですけど、学校のほうも子どもが増えてきて、教室返さなきゃいけないということで、今、本町児童館のほうの一部を使用して、学童保育を行っている状況は変わりございません。

今、これから先の見込みを出しているんですけども、まだまだ子どもが、全体的に学童の児童数。学校も当然そうなんですけど、共働き家庭が増えているという状況がありまして、学童のほうは、これからまだ増えていくという予測を立てています。

時間はかかりますが新しい施設を建てるとか、学校さんの教室を借りて対応という考え方も変わらずありますし、例えば民設民営とかの対応をといるところも、考え方の一つにもなりますし、いろんな方策を検討しながらやってきてはいるところなんですけど、なかなかすぐに対応できるというようなところが出てこないというのが実情ではあります。

ただ、市としては、学童保育は全入制を維持していくという考え方を持っていますので、申込があった児童は受け入れる、そういった体制をとっていかなければならないとなると、今の緑と本町も、すぐに、児童館の部屋を戻せるかということ、戻せるような状況ではなく、しばらくは今の状況を続けて、児童館の協力を得ながら対応していくしか、今のところはないかなと考えている。

ただ、それでいいかと思っているわけではなくて、例えば、新しい複合施設とかということも考えなければいけないと思いますので、いろんな方面での考え方をもって、これから対応していかなければならないというところでもあります。

倉持会長

はい。長期的な検討、施設の件や予算の面というの、もちろんあると思うんですけど、各委員から出ているように、そのときの子どもは、そのときの遊び場は、もうそのときにしか必要ないというか、自身の成長に大きくかかわることだと思いますので、ぜひ検討を、短期的な検討も含めて進めていただきたいと思います。

これは毎度課題になることで、課題のまま推移しているというのが、かなり大きな問題だと思いますので、引き続き長期、俯瞰的な検討ということを進めていただきたいと思います。ありがとうございました。

木本委員	<p>どうぞ、木本委員。</p> <p>すみません、木本です。全く別の話題になってしまうんですけども、9月、10月と大きな台風が来て、特に10月というのは、ほかの市も臨時でとまったりとか、閉館とかもあったと思うんです。ニュースでも、すごくたくさん備えてくださいという話が出ていたと思うんですけども、そのときは児童館はどのように対応されたのか、お伺いしたいと思います。</p>
倉持会長	<p>お願いします。</p>
鈴木課長	<p>児童青少年課長です。台風19号のときだったと思うんですけども、JRも早目にとまるという計画運休の情報だけは出ていたんですが、いつからとまるという情報が、はっきりと何日の何時からとまるという情報が、まだ出ていなかったんですよ、あの台風が来るまでの3日間。今回の台風については、普通の台風じゃないということで、市の中の防災の担当のほうも、どういう対応をとっていかという検討はしていたんです。児童館、学童、保育園についても、どういう対応をとるかということでは、台風の前日まで検討や、話し合いをしていたんですけど。市の中で正式な形で災害対策本部を立ち上げると、全部の施設が、閉館とかになるんですけど、そういう形じゃない、各所管のところでの判断をしなければいけないという状況だったんですね。</p> <p>まず学童のほうからお話しさせていただくと、土曜日の日に台風が来るということだったので、土曜日に、まず子どもを預かる予定があるかという確認を金曜日の昼間からずっと対応していきまして、当日来る予定の学童が3所ありました。そういった関係もあるので、3所は開かなきゃいけないだろう。児童館についても、条例上は、特に閉館というところは、天災によってとかというところを書いていないので、一応、開館という予定でございました。</p> <p>保育園についても開くというふうに保育課のほうから聞いていましたので、実際には児童館、学童も、保育園も開くという形で、前日の夕方には部長判断で開くという形になっています。</p> <p>そこから、また5時過ぎに学童のほうから、実際には保護者さんのほうから、土曜日は来ませんというお話もあって、当日の朝8時の時点で学童も児童館も開くということで開館しましたが、当日、児童は</p>

来ませんというお話になった学童が全部だったので、職員は9時に閉めて帰宅。児童館のほうも、子どもたちが避難とかという形で来ている場合、そういったことも気にしたんですけど、結局、来館者ゼロだったので、10時には、閉館して、職員の安全も考えて帰りましょうという形をとりました。

これ、各市いろんな状況がありまして、直営所、直営館、委託館とか、ほかの市だと指定管理者とかという制度を設けてやっている市などもあるんですけど、前日から、もう開館しないと決めている市もありましたし、日野さんとかは、避難所設営をして、結果的に多摩川のああいふ状態になってしまったというのもあって、避難所の近くにあった学童は、さらに避難所としてやらないと入り切れなかったなんていう状況だったらしいんです。

うちは幸い、そこまでの想定がなかったので、市内でも避難所3カ所を学校に設置するという形になっていたので、そこから来るとは思っていないませんでした。避難所自体を、設置したことがなかったので、万が一子どもたちが避難に来た場合というときも想定して、開くという判断を部長判断で行ったんですけど、結果的には誰も来なかったので、職員は、1時間程度で引き上げたという結果になりました。

ただ、課題として、やっぱりJRがとまるというのは今までもりましたが、最近では事前に計画運休の情報がでますけど、職員も来れないんじゃないかという課題は、どこの市も一緒でありますので、対応としては、そういう対応をとらせていただきました。ただ、課題としては、これが平日だったらとか、いろいろ今までと違う気候変動なので、ほかの市とかの対応の状況なども参考にしながら、今後の課題かなと思っています。

倉持会長
木本委員

はい、どうぞ。

木本です。学童さん、保育所さんの預かりと、やっぱり児童館という自由来館とは、またちょっと分離して考えたほうがいいのかというのは私の中ではありまして。やはり必要で来なくてはいけない保育所とか学童もあるんですけど。児童館で今回開いていらっしやったということなんですけれども、開いていたがゆえに家に帰るのがおくれて子どもの安全が逆に脅かされるということにもなりかねなかったかなというのは、ちょっと今伺っていて思いました。

森主査 倉持会長 森主査	<p>あと職員の皆様も多分、1時間程度で帰られたということなんですけど、雨降っていますよね。もしかしたら強くなった中で、じゃあ、もう閉めますから帰りなさい、帰っていいですよと言われてたところで、帰れなかった状況があったかもしれない。</p> <p>その判断、閉館するとか、条例もあって、閉館すべきかとか、その判断で、すごく難しかったとは思いますが、子どもだけではなくて職員の皆さんの安全、身の安全のことを考えると、やっぱり今回、そんなに被害は小金井はなかったかと思いますが、その場に応じた臨機応変な対応というのは今後必要かなと思っていますので、ご検討いただければと思います。</p> <p>すみません、補足いいですか。</p> <p>はい。</p> <p>現場の職員としては、一様に同じ思いで、当然19日は子ども来るといって感じでした。それは今のおっしゃられたように、来ることによって帰りの心配をしなきゃいけないということもあります。子どもが来たら保護者に電話して、「児童館に来ているけど大丈夫ですか？」と確認をするつもりでした。基本来館したら返す方向であったことは、課内含めて全館で確認しました。</p> <p>一番怖いのは中高生なんですね。もう親の言うこと聞かずに、ふらっと遊びに来て、ちょっと雨降ってきたから入ろうぜみたいな感じで来るのが一番怖いので、そこだけ警戒していたんですね。小学生は恐らく来ないのではないかなと思っていました。</p> <p>だから、基本的には小学生と同様に来館したら保護者に連絡ということは同じにしていました。</p> <p>だから、その日は、来てほしくないというのは当然ありました。そんな中で一応開館という形だけは取っていましたが、結果として上からの指示で午前10時に閉館しました。</p> <p>ただ、職員の安全管理に関しては、基本的に電車乗って来る職員が来れなかったら意味がないので、通勤に交通機関を使う職員に関しては休むように、一応直営館の方は指示しました。結果的には1人しかいませんでしたが。東児童館は委託なので、その辺の勤務に関する安全に関しては、受託団体が責任を持つのでこちらからは指示しませんでした。結果考え方は直営も委託も同じでした。</p>
--------------------	--

倉持会長	<p>委員の皆様から我々職員の安全について考えていただき大変ありがたいことですが、我々公務員ですので、基本的には震災が起きれば何があろうと出勤をしなきゃいけない状況にあるので、基本的には安全面等を考えていられない場合もあります。</p> <p>ありがとうございました。今までの災害対応みたいなことが、そのまま通らないような現状や状況になりつつありますので、改めて今回のことを機に少し見直すということでしょうかね。もちろん臨機応変な対応も重要なんですけども、できる準備はしておくという意味では、今の状況に応じた対応のあり方というのも引き続き検討いただければなと思います。ありがとうございました。</p> <p>それでは、そろそろ時間になりますので、令和元年度第2回小金井市児童館運営審議会を終了したいと思います。次回は2月の予定です。日程と資料は後日ご連絡させていただきますので、また引き続きご参加のほど、よろしく願いいたします。本日はどうもありがとうございました。お疲れさまでした。</p> <p style="text-align: right;">―― 了 ――</p>
------	---